しまね 6月定例会 県議会だより

農業施策や島根半島震災対策など活発に議論

関税措置の影響を受ける事業者への支援ほか 総額約11億円の補正予算案を可決

島根県議会6月定例会は、6月9日から7月2日までの24日間開催されました。今定例会より議長に就任した池田議長はあいさつで、目下、最大の問題は人口減少であること、また、長引くエネルギー・物価高騰により県民の生活や地域経済はより厳しいものになっていることに加え、米国の関税措置による県内企業への影響の懸念について触れました。そして、本議会での活発な議論を通じ、議会と執行部が両輪となって、県政の発展に努めていく旨を述べました。

6月16日から23日にかけて行われた質問戦では農業施策や島根半島震災対策など様々な県の課題について論戦が繰り広げられました。最終日には関税措置の影響を受ける事業者への支援など総額約11億円の補正予算案をはじめとして、26議案が可決等されました。

一般質問

島根県農林水産基本計画の取組に向けた意気込みは

（農林水産部長）国の制度も活用し、農業が維持できるよう、ソフト、ハードの両面で取組を進めたい

島根県農林水産基本計画の推進方針について　生越　俊一議員

【問い】中山間地域の農業が守られる取組を期待する中、創生計画に基づく農林水産基本計画の取組に向けた意気込みを伺う。

【答え】中山間地域では、高齢化による離農の増加が想定されるため営農維持の施策を強化している。また、法面での除草作業や獣害の発生など維持管理に労力がかかり、離農に伴う農地の引き受けが進みにくいため、国の制度も活用し、農業が維持できるよう、ソフト、ハードの両面で取組を進めたい。

道路照明の点検について　原　拓也議員

【問い】出雲市では目視による照明点検がなされていたが、倒壊事故が発生した。人命に関わるため精緻な点検が必要であり、例えば5年程度かけながら点検することも手だと考えるが、知事の考えを伺う。

【答え】平成25年度に照明柱の詳細点検を実施し、以降は目視で状況を確認してきた。前回の詳細点検から10年以上経過しているため、今年の7月から全ての照明柱について詳細点検を実施したい。

病床数適正化支援事業について　須山　隆議員

【問い】病床数適正化支援事業と称して、病床数を減ずる医療機関に対し、病床数1床につき410万円余を助成するという国の補助事業が創設された。この支援事業の支給対象となる県内の病床数がどの程度になるのか伺う。

【答え】要望のあった医療機関が削減を予定する病床の稼働状況や決算状況を確認した上で交付決定を行うこととしており、概ね100床程度が対象となると見込んでいる。

島根県食肉公社について　内藤　芳秀議員

【問い】施設の老朽化等の課題を抱える島根県食肉公社の今後の対応について伺う。

【答え】施設の老朽化の他、輸出相手国の規制に適合した設備整備や労働力不足に備えた省力設備の導入などに対応するため、流通販売の関係者、JAや県をメンバーに今後の施設の在り方について検討を進めている。県は、構想案の策定から具体化まで協議に参画し、農水省等関係機関と連携し、支援策を検討したい。

島根県立大学における学部再編の評価について　坪内　涼一議員

【問い】令和3年4月に行った学部再編の評価について伺う。

【答え】令和6年度卒業生の就職率は、国際関係学部100%、地域政策学部98・3%であり、2学部合計の県内就職者の割合は32・4%と総合政策学部の令和5年度卒業生の26・4%に対して6ポイント増加となっている。学部再編の結果、より多くの人材を県内に輩出できたものと評価しており、今後もその取組を推進していただきたい。

中国電力から企業献金とも言える負担金は受け取るな　尾村　利成議員

【問い】島根半島震災対策事業において、原発推進の中国電力から10年間で50億円もの負担金を受領することは、島根県政をゆがめ、原発マネーに依存する県の財政構造を加速させるものと考える。負担金受領によって、県が中国電力に対し、毅然たる対応が取れなくなるのではないか、いかがか。

【答え】本事業は、中国電力からの協力があるなしにかかわらず、実施すべき事業だと考えている。

一問一答

住民に丁寧でわかりやすい 島根原子力発電所の情報公開を

（防災部長）HPへの掲載内容を検討の上、適宜必要な見直しを行い、引き続きわかりやすい広報に努める

建設コンサルタント業務の発注について　福井　竜夫議員

【問い】土木分野における公共調達について伺う。建設コンサルタント業務は地域に精通した事業者が担うことが合理的であり、受注機会が確保できるよう制度の見直しが必要と考えるが見解はいかがか。

【答え】発注業務の品質確保や災害時の迅速な対応のために地域の建設コンサルタントの維持・確保は重要。関係団体の意見を伺いながら、指名業者の選定方法について引き続き検討を行う。

島根原子力発電所の情報公開について　白石　恵子議員

【問い】風向風速を知る方法や放射線の単位「シーベルト」「グレイ」の違い等、分からないことが多い。HP上で丁寧な説明をするなどわかりやすく住民に周知してほしいが、考えを伺う。

【答え】住民から様々なご意見を頂くが、納得頂けない場合は県の考えを説明する等できる限りの対応を取っている。HPへの掲載内容を検討の上、適宜必要な見直しを行い、引き続きわかりやすい広報に努める。

都会と地方間の差をどうする　中村　絢議員

【問い】東京都の水道料金無償化などの支援を見て、地方との格差が更に広がると感じた。生まれた地域によって最低限の行政サービスに差が出ないよう、東京と地方の格差是正について考えを伺う。

【答え】東京一極集中の是正や税源の偏在是正が不可欠。更に大企業と中小企業の取引構造を適正化することで、地方に資金が回り、地域間の財源格差が縮まる。国への働きかけを続け全体の構造転換を目指す。

避難所における快適なトイレ環境の確保　岡崎　綾子議員

【問い】能登半島地震の発生直後、避難所に高付加価値コンテナトイレが設置され利用者の評価が高かったと聞く。災害時の快適なトイレ環境確保について県の見解を伺う。

【答え】県では簡易トイレの配布やトイレカーの確保により対応することとしている。ハード面だけでなく、設置場所や防犯対策、安全や衛生、快適性への配慮も必要と考える。引き続き避難生活改善の取組を支援したい。

海人を育てるふるさと教育について　吉田　雅紀議員

【問い】海に生きることを志す若者を一人でも増やすためには、教育の役割は極めて大きい。船員を志す若者を増やすため、ふるさと教育においても新たな取組を考えてもらいたいが所見を伺う。

【答え】船員になるための進路を示したロードマップなどの資料を新たに作成し、全ての県立高校において生徒の目に触れやすい場所に掲示を行うなど、船員になるための進路が分かるようにしていく。

グループホームの外部評価調査員研修の実施について　岩田　浩岳議員

【問い】グループホームの外部評価調査員研修の実施について、本県では長らく調査員養成のための研修が開催されていない。県として研修再開に向けてどのように取り組んでいくのか伺う。

【答え】外部評価機関による評価は専門的な研修を受講した調査員により行われるものであり、グループホームに必要な制度であると考えている。できるだけ早期に実施できるよう、引き続き申し入れていきたい。

公益通報者保護制度について　角　智子議員

【問い】公益通報者保護制度の法改正についての所見を伺う。

【答え】職員からの公益通報に適切に対応し、県の業務の適正な執行を図る。事業者に関する公益通報については広く制度の周知を図る。制度があることで、不正をすると公開されることから自制を求められ、不正の未然防止に大変有効である。法改正の趣旨も踏まえて制度をきちんと運用していくことが求められていると認識している。

今後の島根の農業の方向性について　田中　明美議員

【問い】高温対策についてどのような指導が行われているか。

【答え】米についてはコシヒカリから高温耐性に優れたつや姫やきぬむすめへの転換を促し、土づくり、水管理、追肥、イネカメムシの防除等の栽培管理の指導を行っている。露地野菜では定植時期の変更、効果的なかん水方法の指導を行い、施設栽培では遮光ネット、遮光剤、冷却ミスト等ハウス内の温度を下げる取組を推進している。

高校生の就職活動における1人1社制度について　森山　裕介議員

【問い】公開求人に限り複数応募を段階的に導入してはどうか。また、制度設計にあたり当事者や卒業生の意見も反映すべきと考えるが、所見を伺う。

【答え】生徒の混乱や企業の反応等を考慮し、現時点で導入する環境にはないが、関係機関・学校現場の意見を伺い、アンケート調査等を行って、卒業生から1人1社制度への思いや考え、振り返りなどを把握した上で、必要に応じて制度の研究を行う。

物価・食材費高騰のもとでの学校給食について　大国　陽介議員

【問い】県内では給食費を無償化した自治体がある一方、食材費高騰分の一部を保護者負担に転嫁する自治体もある。給食センターでは調理の工夫やデザート・ジャムの減などで対応されている。これ以上の負担増は避けなければならない。支援の強化を求めるが所見を伺う。

【答え】小中学校の給食支援を補正予算で増額する。質の低下を招かないよう、国において適切な物価高騰対策を講じて欲しい。

農業問題について　成相　安信議員

【問い】今回の米騒動の根本的原因は、長年の統制的な減反政策にある。農政の改革すべき重要課題について、知事の見解を伺う。

【答え】「水田活用の直接支払交付金」は過剰生産と低米価を防ぎ、今回の増産にもつながったと評価しており、この制度は今後も必要。消費者にとって高く、生産者にとって安い米価の現状を踏まえ、農政として再生産可能な価格水準の確保が重要と認識している。

道路照明柱倒壊防止のため 精緻点検を実施する考えは

（知事）今年の7月から全ての照明柱について詳細点検を実施したい

PFAS（有機フッ素化合物）の水質規制について　園山　繁議員

【問い】環境省は健康や環境保全の観点から来年4月に有機フッ素化合物の暫定目標値50ng／Lを法的水質基準とする方針で、水道事業者の負担増大は不可避で、協業化や集約化、広域化の検討が必要では。

【答え】上水道事業は日常生活に欠かせない飲料水と生活用水を安全かつ安定的に供給する必要があり、市町村と令和5年3月に水道広域化推進プランを策定し、人口減少や施設、管路の老朽化などの課題に取り組んでいる。

自死の現状と対策について　岸　道三議員

【問い】ゲートキーパーの養成状況と自死対策への効果について伺う。

【答え】養成研修には、講義中心の基礎研修と悩んでいる人への接し方の演習も含めたスキルアップ研修の2種類があり、延べ1万2,295人が受講している。危機に陥った人の心情や背景を理解し、思いに寄り添い、声をかけ、話を聴き、必要な支援につなぎ、見守るゲートキーパーの存在は自死対策として大きく、引き続き養成に取り組む。

県内企業の採用力強化の取組について　岡本　淳議員

【問い】島根県雇用対策計画にある「若者の県内就職の促進」で新たに掲げた企業の採用力強化の取組について伺う。

【答え】新しい取組として、採用活動の基本から運用までを実践的に学べるセミナーを実施するほか、企業がインターンシップを実施する際、学生が参加してみたい、または参加して企業への理解が深まり、就職したいと思えるプログラムとなるよう専門家を活用した支援を行う。

児童養護施設の退所者に対する支援について　吉野　和彦議員

【問い】国が取組をはじめた社会的養護経験者等が抱える日常生活や仕事、学業などの相談・助言等を行う社会的養護自立支援拠点の設置に向けて、県の考えを伺う。

【答え】今年3月に策定した「社会的養育推進計画」において令和10年度を目途に設けることを検討しており、設置に向けて関係者の意見を伺っているところである。支援体制についてのニーズ調査も行い、検討を進めていく。

共助による新たな移動手段の導入について　河内　大輔議員

【問い】共助版ライドシェアとも呼ばれる、地域住民同士の共助によるこの仕組みは、住民が自家用車等を用いて近隣住民を送迎するものであり、移動支援の新たな形として注目をされている。先進地域との連携、技術支援、住民啓発などをどのように推進していくのか伺う。

【答え】市町村の方針を基に、自治会輸送の導入経費に対する助成や運営面の課題解決に向けた伴走支援に取り組んでいく。

オンラインギャンブル依存について　久城　恵治議員

【問い】オンラインカジノやオンラインギャンブル依存に対する県の対応について伺う。

【答え】県ではギャンブル等依存症対策推進計画により、正しい知識の普及啓発や相談を行っており、策定中の第2期計画ではオンラインギャンブルへの対応を強化する。益田市の松ヶ丘病院では、オンラインギャンブルを含む依存症の治療や研修会を実施しており、今後も国や関係機関と連携して取り組む。

議員から提案された2件の意見書を可決しました

○地方財政の充実・強化を求める意見書
○医療機関の事業と経営維持のための診療報酬再改定を求める意見書
※意見書の全文は、島根県議会ホームページで見ることができます。
（https://www.pref.shimane.lg.jp/gikai/）

6月定例会で可決等された議案

知事提出議案（23件）
◇令和7年度島根県一般会計補正予算案など予算案（3件）
◇条例案（12件）
▽特別職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例
▽その他11件
◇一般事件案（8件）
▽島根県人事委員会委員選任の同意について
▽その他7件

議員提出議案（3件）
◇条例案（1件）
▽議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当支給条例の一部を改正する条例
◇意見書（2件）
▽地方財政の充実・強化を求める意見書
▽その他1件

令和7年度6月補正予算の概要

・関税措置の影響を受ける事業者への支援
・米価格上昇に対する給食費の支援
・看護師資格取得に向けた奨学金制度の創設
・災害時等における歯科保健医療提供体制の整備
・訪問介護等サービスの提供体制の確保への支援
・LPガス消費者への支援
・特別高圧電力利用者への支援
・農業水利施設の電気料金等への支援　等
6月補正後の一般会計予算額は4,731億円となります。

議長・副議長が選出されました

議長
池田　一（64歳）
出雲選挙区5期

副議長
高橋雅彦（72歳）
雲南・飯石選挙区3期

6月定例会で議長に池田一議員が、副議長に高橋雅彦議員が選任されました。池田議長は就任のあいさつで「第2期島根創生の取組を進め、人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根づくりに寄与できるよう、誠心誠意努めていく」と決意を述べました。